

# アルプコート アルプセラコート

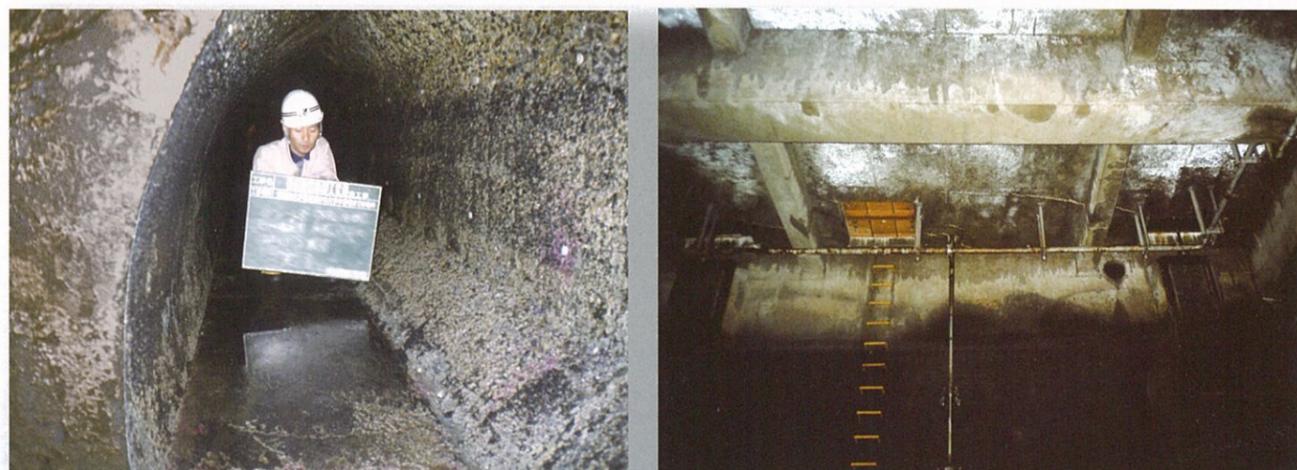
日本下水道事業団『塗布型ライニング工法の品質規格』、  
地域資源技術センター『防食被覆の品質規格』に合格!

アルプコート、アルプセラコートは優れた耐酸性と耐水性、耐アルカリ性をそなえたエポキシ樹脂ライニング材です。

下水処理施設、排水処理施設、薬品槽、排水ピット等のコンクリートの腐食を防ぎます。

## 下水・排水におけるコンクリートの劣化

下水・排水から発生した硫化水素を細菌が酸化させて、硫酸が生成されます。その硫酸とコンクリート中の成分が反応して、コンクリートの劣化を引き起こします。覆蓋された又は密閉された換気の不十分な気相部で、より激しく劣化します。



## エポキシライニングによるコンクリートの延命

耐酸性、耐アルカリ性、耐水性に優れたエポキシライニングシステムにより下水処理施設、排水処理施設等のコンクリート構造物の耐用年数を延ばします。



※ライニングの前にコンクリート欠陥部は適切な処理を行なうことが必要です。  
防食技術指針・同マニュアル、防食設計・施工の手引きに処理例が記載されております。



### ■ 日本下水道事業団 防食技術指針による分類

( )内は適用する工法

分類	腐食環境	点検、補修、改築時の難易	
		易	難
I 類	年間平均H <sub>2</sub> Sガス濃度が50ppm以上で、硫酸によるコンクリート腐食が極度に見られる腐食環境。	I <sub>1</sub> 類 (D <sub>1</sub> 種)	I <sub>2</sub> 類 (—)
II 類	年間平均H <sub>2</sub> Sガス濃度が10~50ppmで、硫酸によるコンクリート腐食が顕著に見られる腐食環境。	II <sub>1</sub> 類 (C種)	II <sub>2</sub> 類 (D <sub>1</sub> 種)
III 類	年間平均H <sub>2</sub> Sガス濃度が10ppm未満ではあるが、硫酸によるコンクリート腐食が明らかに見られる腐食環境。	III <sub>1</sub> 類 (B種)	III <sub>2</sub> 類 (C種)
IV 類	硫酸による腐食はほとんど生じないが、コンクリートに接する液相が酸性状態になりえる腐食環境。	IV <sub>1</sub> 類 (A種)	

### ■ 地域資源循環技術センター 防食設計による分類

劣化環境分類	環境条件	コンクリート表面のpH指標	硫化水素濃度の指標	二酸化炭素の指標	適用する及び工法 及び 設計厚(mm)
1 種	コンクリートが微生物腐食等により、短期間に劣化する可能性は少ないが、長期的に二酸化炭素による中性化(炭酸化)等を伴う変質劣化が一般環境以上に進行する可能性がある環境	6以上 7未満	無し又は わずか (概ね 1ppm未満)	1000ppm 以上	<b>1 種</b> エポキシ樹脂 塗り回数2回以上の被覆 0.20以上
2 種	汚水等が嫌気化する可能性があり、低レベルの硫化水素と高濃度の二酸化炭素等の発生により、コンクリートに軽度の微生物腐食等による経時的劣化の可能性のある比較的緩やかな劣化環境	4以上 6未満	低レベル (概ね1以上 5ppm未満)		<b>2 種</b> エポキシ樹脂 塗り回数3回以上の被覆 0.35以上
3 種	汚水等は嫌気性化し、高レベルの硫化水素が発生し、気中放散する可能性があり、コンクリートが短期間に微生物腐食による腐食劣化を受ける可能性が高い比較的過酷な劣化環境	4未満	高レベル (概ね 5ppm以上)		<b>3 種(その1)</b> エポキシ樹脂 1プライ積層の被覆 0.70以上 <b>3 種(その2)</b> セラミックパウダー入り エポキシ樹脂モルタル 塗り回数2回以上の被覆 5.00以上